

令和6年度 都城市立明和小学校自己評価

4：大変よい（90％以上） 3：だいたいよい（～70％） 2：もう少し（～50％） 1：よくない（50％未満）

	項 目	ポイント			自己 評価	考 察	学校関係者評価	
		児 童	保 護 者	職 員			意 見	評 価
かしこく【知】	1 授業へ楽しく参加していますか	3.5	3.3	3.2	3.1	○ 今年度も学級づくりを基盤とした全員参加型の授業づくりを進めてきた。一人一授業実践を掲げ学年部で授業づくりを行い、授業力向上に努めた。ひなた(わさび)の学びの実現に向け、指導教諭による講義や模擬授業など、実践的な研修を行うことができた。結果「授業が楽しい(93%)」「授業が分かる(93%)」と答えた児童は昨年度とほぼ同じ割合であった。 ○ 年度はじめに各担任が単元テストにおける目標設定をして取り組んできた。設定した単元テストの目標を達成した職員は88％であった。 ○ 自分の考えや思いを表現できている児童が昨年度より増えた。(76％→81%)しかし、教師から見てもまだ課題が残っていると感じている。今後もペアや小グループで活動を取り入れながら、自分の意見をきちんと発言できる力を身に付けさせ対話的な授業の実現を目指したい。 ○ 家庭学習については、個人差が大きい。今後も家庭との連携を図っていきたい。	○ ポイントを見ると都城市教育委員会が推奨する「子どもたちが主役となる授業」づくりに先生方が真摯に取り組まれていることが分かる。 ○ 学校長と教職員が一体となって学力向上、基礎基本の定着に取り組み、素晴らしい学校運営ができています。児童が楽しく授業に参加している様子が見られてうれしく思う。 ○ 正確な漢字の書き取りや四則計算の定着など基礎・基本の定着のために、教育課程を工夫して授業以外の時間で反復練習をする活動の設定はできないうか。 ○ 家庭学習の宿題や課題の内容は、子どもの理解度に応じた課題を出すなどできないうか。 ○ 家庭学習時間、親と子がルールを守る話し合いが大事だと考える。携帯やスマホ、タブレット端末等の操作（ゲーム）の時間を減らし、学習に向けさせることが必要だと考える。 ○ 子どもたちのタブレット端末操作の上達に驚きました。 ○ 「授業が楽しい・分かる」が9割を超えていることが、明和小の学力向上につながっていると思う。今後も継続してほしい。 ○ 学習の習慣化を図るためにも、毎日の家庭学習に取り組んでもらうことを願う。また、分からないところがあるときには、恥ずかしがらず積極的に質問してほしい。	3.4
	2 授業内容を理解していますか	3.4	3.1	3.0				
	3 学んだことをもとに、自分の考えを表現していますか	3.2	2.9	3.1				
	4 家庭において、学年で決まった時間学習していますか（低30～50分 中50～70分 高70～90分）	3.0	2.8	2.9				
あかるく【徳】	5 学校の生活のきまりやマナーを守っていますか	3.5	3.1	3.0	3.1	○ 本年度は、「右一静歩」「元気のよい挨拶」「靴並べ」を重点目標として取り組んだ。生活安全委員会の児童による玄関前での挨拶や下足室の靴並びチェックなどで児童の意識の高まりが見られる。特に見守り隊の皆様からの「挨拶名人カード」配付により、自ら声を出して挨拶できる児童が増えてきた。その一方で、「無言清掃」や下校時、帰宅後の過ごし方に課題が見られ、地域での過ごし方について地域の方々からも連絡があった。今後も家庭・地域に啓発しながら、子どもたちの規範意識の向上に努めていかなければならない。 ○ 友達に嫌なことをしないと答えた割合(93%)は高いが、保護者や関係機関に連絡しなければならぬような事例もあった。今後も「いじめの早期発見、早期解決」を目指し、全児童が安心して過ごせる学校にしていきたい。 ○ 「本が好きでよく読む」と答えた児童は86％であるが、保護者の意識では42％と差が大きい。学校の読書活動が家庭につながるような工夫をしていきたい。	○ 学校で見かける子どもたちは、廊下を静かに一列で歩き、元気な声で挨拶してくれる。登校時に気持ちのよい挨拶ができる児童も多く対人関係能力が育っている子どもが多いと感じる。 ○ 家庭で読書をする習慣がないように感じる。ノーマディアや親子読書の日を設定するなどの工夫はできないうか。 ○ 学校生活やマナーは守られていると考えます。特に明和小伝統の「右一静歩」の更なる充実を期待します。 ○ 読書の時間が設定されており児童の読書習慣につながっていると考える。 ○ 「右一静歩」「元気のよい挨拶」「靴並べ」の重点目標は、児童の生活習慣を定着させる素晴らしい取り組みだと思う。 ○ ほとんどの児童がすすんで挨拶をしているので良いと思う。子どもたちから元気をもらっている。 ○ 「友達に傷つく言葉・・・」については、児童と職員の評価に大きな差がある。自分で気付かずなにげに発している言葉が相手を傷つける場合もあることを指導してほしい。 ○ 読み聞かせを毎回楽しみにしてもらえてうれしく思う。これからもたくさんの本を読んでもほしい。	3.6
	6 家族や友達と協力して手伝い（掃除）をしていますか	3.3	3.1	2.9				
	7 友達に傷つく言葉を言ったり、嫌がることをしたりしていませんか	3.6	3.3	2.8				
	8 読書が好きで進んで本を読んでいますか	3.1	2.4	3.1				
たくましく【体】	9 健康や安全に気をつけていますか	3.6	3.0	3.1	3.2	○ 児童の飛び出しによる交通事故が2件発生した。今後も児童の交通安全への意識を高めつつ、家庭・地域と連携して登下校を見守る必要がある。 ○ 体育の授業や昼休みに遊具やボールを使ったり、子どもたちが集団で遊んだりする場面が見られ、外遊びが好きと答える児童も87％と高い。体力テストでは、長座体前屈が課題として明らかとなったため、スクールスポーツプランをもとに、体育的行事、体育学習を充実し各種の体力の維持・向上に努めたい。 ○ 早寝、早起き等に心がける児童の割合が、児童88％、保護者85％で、昨年と比べると伸びている。しかし、遅刻をする児童も多く、家庭と連携して生活習慣の改善、定着を図っていく必要がある。 ○ う歯の治療を推進するために、保健便りの配付や個別のお知らせなどを行った。12月現在、う歯の治療率が54％であるが、目標(65％)達成には至っていない。今後も家庭への啓発を行う。	○ 持久走大会で懸命に走っている子どもたちの姿に感動した。心身共にたくましく成長していると感じた。 ○ う歯の治療率の低さに驚きを感じた。保護者への啓発を積極的に勤めてほしい。 ○ 「挨拶カード」の取組は、児童の元気のよい挨拶につながっている。また、見守り隊のやりがや達成感にもつながっている。 ○ 交通事故や交通安全については、学校、家庭、地域で連携し、何度も注意を促した方がよいと思う。 ○ 今後、見守り隊としても信号厳守、挙手横断はもちろん飛び出しや道路歩行指導も行っていきたい。 ○ 外遊び等は安全に気を付けて楽しく遊んでほしい。	3.6
	10 外で元気よく遊んだり、運動したりしていますか	3.5	3.3	3.3				
	11 早寝、早起き、朝ご飯、朝の排便に心がけ、規則正しい生活をしていますか	2.8	3.1	2.9				
	12 歯みがきをしたり、う歯の治療をしたりしていますか	3.6	3.3	2.9				
その他	13 学校からのプリントやテスト、ファイル等を見せていますか	3.5	3.2	2.9	3.1	○ 児童は、学校であった出来事を家の人に話しているようである(児童87％、保護者83％)。学校からも気になる行動について、こまめに保護者に連絡をとるなどしてきた。今後も、保護者と情報を共有しながら学習指導や生徒指導を行ってきたい。 ○ 主題研究や西中ブロック小中一貫教育授業研修会において「子どもが主役の授業」の実現に向け授業を中心とした研修に取り組むことができた。 ○ 福祉体験や郷土料理においてゲストティーチャーを招いた。また、横市地区や五十市地区の行事に参加するなど、地域と連携した取組や活動も行った。本年度も地域の皆様にご協力いただき、明和ふれあい交流フェスタを開催することができた。 ○ 学校ホームページの更新を行い、学校の出来事や児童の様子を伝えることができた。また、シグフィーで学校だよりや学校・学級、PTAからのお知らせを発信することができた。シグフィーに登録された地域の皆様へも随時情報を発信できている。 ○ PTA活動のボランティア賛成は、保護者91％・職員78％であった。執行部の負担が増えている感想もあった。次年度は、ボランティア募集の方法について改善し、多くの保護者がボランティアとして参加していただくようにしていきたい。 ○ 穏やかな態度で児童に接していると振り返った職員は、92％であった。今後も子どもたちに笑顔で接していきたい。	○ 様々なPTA活動を実施されたPTA役員さんと協力された保護者の姿に感動した。 ○ ホームページやSigfyで学校の様子が分かり良いと思う。様々な啓発や呼びかけを積極的にSigfyで行って良いのではないだろうか。 ○ 5月の体育発表会実施は、熱中症等の心配も無くよかった。 ○ 明和ふれあい交流フェスタは、①活動時間が午前中②PTAの負担軽減③地域も参加を評価できる。今年度は、久保原・久保原西公民館も参加していただいたのがよかった。 ○ 明和ふれあい交流フェスタは、学校（教員）、家庭（保護者）、地域が一体となって活動できたので良かった。 ○ ゲストティーチャーは学校行事に関わることで、やりがいと児童から元気を貰っている。積極的に活用していただきたい。 ○ 明和ふれあい交流フェスタの活動内容は、実行委員会で見直し必要がある。（軽スポーツの種類など） ○ 児童の個性や特性を伸ばし、自ら考え、生きる力とたくましい体、優しい心をもった児童に育ててほしい。 ○ 環境教育や道德教育の充実を図り、基本的なマナーや思いやりを身に付けた児童の育成をお願いしたい。 ○ 公民館の行事を工夫しながら行っている。今後も学校と地域で子どもたちの健全育成を行っていただきたい。	3.7
	14 学校は相談に適切に対応していますか（保護者・職員）	3.5	3.3	3.1				
	15 子どもが主役の授業を全ての単元に取り入れていますか（職員）			2.9				
	16 あなたは自分の住んでいる地域の行事に参加していますか（児童） 地域の人材や素材を活用した授業をしていますか（教職員）	2.9		2.7				
	17 学校は、ホームページやシグフィー、各種通信等で様子を伝えていますか（保護者）		3.4					
	18 学級役員制からボランティア制度へ移行したPTA活動はどうでしたか（保護者・職員）		3.4	3.0				
	19 穏やかな態度で児童に接していますか。（職員）			3.1				